

## 平成23年度防災事業実績について

## 1. 防災資機材及び食糧備蓄の整備

(決算見込 資機材 6,287千円 食料 846千円)

## (1)防災資機材

22避難施設において、必要最低限の電力確保を目的とした資機材を整備。

## 整備内容/施設

発電機(2.4KVA)	・・1台
投光器(メタルハライド)	・・1台
補助照明セット(40W×5本)・・1セット	
ドラム(30m)	・・2個
ガソリン携行缶(10ℓ)	・・2個
ガソリン缶詰(1ℓ)	・・20缶

## (2)食糧及び生活必需品備蓄

区分	購入数	23年度末	目標値
乾パン・クラッカー	2,800	34,652	63,000
アルファ米	1,000	14,150	38,250
粉ミルク	574	3,456	—
飲料水(500ml)	—	26,160	—
毛布	—	15,827	—
紙オムツ(大人・小人)	—	8,201	—

平成23年10月1日現在 人口 65,903人 目標値算出の基となる 人口 65,900人	避難者を全人口の30%とし、熱源使用不能状態が2日続く想定で必要とされる初期応急食糧数量(2日間の内最初の1食は、発災直後であり考慮せず、2日で5食とした。)98,850食に帰宅困難者対応分2,400食(800人×3食)を加え合計101,250食を備蓄目標に設定。【飲料水・米・生活必需品については、麒麟ビール始め9事業所と協定】
--	---

## 2. 耐震診断・耐震改修費事業

(決算見込 診断 2,700千円 改修 14,125千円)

■耐震改修補助金額の上乗せ 70万円⇒100万円 (平成23年7月15日から)

## ■耐震診断

23年度	
件数	執行額
60件	2,700千円

## ■耐震改修

23年度	
件数	執行額
15件	14,125千円

## 3. 防災講演会の開催

平成24年1月14日 清洲市民センター

対象 自主防災本部長、市政推進委員 参加人数 約90人

講演 「自主防災組織の活性化について」

講師 レスキューストックヤード 栗田 暢之

## 4. 地域の自主防災訓練実績

## ■西枇杷島地区

実施自治会等	・・30自治会
ブロック合同実施	・・9ブロック
参加者	・・1,007人

## ■清洲地区

実施自治会等	・・22自治会
ブロック合同実施	・・7ブロック
参加者	・・1,052人

## ■新川地区

実施自治会等	・・13自治会
ブロック合同実施	・・6ブロック
参加者	・・869人

## ■春日地区

実施自治会等	・・7自治会
ブロック合同実施	・・3ブロック
参加者	・・485人

## 主な訓練内容

AED、三角巾による応急手当、手づくりハザードマップ作成、倒壊家屋救出訓練、炊き出し訓練、簡易担架を活用した救出訓練 など

## 5. 防災行政無線の自動音声サービスの拡充(平成24年4月から)(決算見込 1,995千円)

◆電話回線を1回線から6回線に拡充 電話番号 052-400-2913

◆自動音声サービス・・・防災行政無線の放送内容が聞きづらい場合24時間以内に市役所から放送した内容を確認するサービス

## 6. 災害時要援護者にかかる近隣支援体制づくり

自主防災会へ近隣支援者の指定と避難支援レベルの調査を依頼。

災害時要援護者 1,373人(平成24年3月現在)

近隣支援指定済者 739人(平成24年3月現在)

## 7. 東日本大震災における清須市の支援

(1) 物資支援 山形県天童市(毛布、水、粉ミルク、アルファ米、マスク)  
宮城県南三陸町(水)(2) 職員派遣 千葉県浦安市 6人(建物の被害認定調査)  
岩手県大槌町 2人(保健師の派遣)  
宮城県仙台市 1人(り災証明発行事務)8. 水害対応ガイドブック・地震ハザードマップについて(別添)(決算見込 洪水 7,350千円、  
地震 6,405千円)